

今年もやります 「猪苗代町民応援商品券」

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町民の皆さんの生活を応援し、地域経済の活性化を図るため、町内で利用できる「猪苗代町民応援商品券」を町民の皆さんにお送りします。

●対象者

基準日となる令和4年6月1日現在で猪苗代町に住民登録されている人
※基準日の翌日以降に出生した人は対象外となります。

●配布する商品券

町民1人当たり5,000円
(500円×10枚つづりを1冊)

●配布方法

各世帯主宛てに世帯全員分の商品券を6月中旬より「ゆうパック」で郵送します。
順次配達されるため、世帯によって到着日が異なりますので、あらかじめご了承ください。

●使用有効期限

7月1日(金)から9月30日(金)まで

●利用店舗

取扱加盟店の情報は、商品券に同封して発送しますのでご確認ください。

●問い合わせ先

【商品券の配布について】

商工観光課 商工観光係 ☎(62) 2117

【商品券の取り扱いについて】

猪苗代町商工会 ☎(62) 2331



ホットニュース



フルーツ&アイス



ソーセージ&季節野菜

新たなご当地グルメを商品化 「まるごと猪苗代ガレット」

町農林課と福島大学食農学類の学生、猪苗代地ビール館は共同で、町のブランド蕎麦「いなわしろ天の香」などを使って、「まるごと猪苗代ガレット」を開発しました。

福島大学の学生が農学実践型教育プログラムとして、地域の食と農に関する課題解決に取り組んだもので、地元産品の6次産業化を図るため、昨年4月から調査や見学などを経て、試作を重ね商品を開発しました。

生地には、「いなわしろ天の香」を用い、町産のアスパラガスと川エビなどを使った「ソーセージ&季節野菜」、ナツハゼとブルーベリーのジャムなどを使った「フルーツ&アイス」の2品を考案しました。

商品開発に関わった地域おこし協力隊の佐川さんは、「蕎麦の里の取り組みとして、日本蕎麦以外のそば粉の活用方法を学生たちが考えたので、ぜひ皆さんに食べてほしい」と話しました。

販売は7月18日まで。2品とも平日は5食、土日祝日は10食限定で、前日までに予約が必要です。

地ビール館 (63) 0100

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！

地域おこし協力隊

長友 海夢 さん

主な活動内容：地域活性化推進支援



今年の4月に任期3年目を迎えた、地域おこし協力隊の長友です。協力隊の任期は3年間と限られており、任期満了後も地域に定住できるような現在準備を進めています。

これまで様々な取り組みを進めてきましたが、3年目にしてようやく形になってきました。その1つが地域の蕎麦をPRしたいという想いで始めた蕎麦打ちです。今年の6月から町内の中央商店街にオープンするシェアキッチンで、「そば処いなびし」を毎週日曜日の夜に営業します。

蕎麦はもちろん、蕎麦の創作料理として「蕎麦粉のお好み焼き」や「蕎麦味噌の焼き肉寿司」なども提供します。

ドリンクメニューには、水環境保全活動の一環で商品開発を行った「猪苗代湖産ひし茶いなびし」を提供します。

いなびし茶は猪苗代湖の新たなお土産として現在、道の駅猪苗代で販売中です。将来的にはお茶の製造工程を、町内で全て完結できるよう設備を整え、地域に新たな産業と雇用を生み出したいと考えています。

県の予算に頼らない持続可能な事業として、猪苗代湖の水環境保全活動に貢献できるよう引き続き挑戦していきます。